



金沢大学

徹底した少人数教育ときめ細かいサポート体制 地元弁護士会による手厚い支援

教育の理念

地域に根ざした法曹教育

本学法科大学院は、本学における法学教育に通底する考え方である「人間及び社会に対する健全な関心と適切な判断能力の涵養」を根幹としつつ、金沢という地方都市に位置すること、弁護士過疎地域に隣接する地に位置することといった地域的特色、さらには北陸を中心とした地域社会において高等教育機関として社会的役割を果たしてきたという本学の歴史に鑑み「地域に根ざした法曹教育」を基本理念として掲げています。

教育の特色

二つの教育の柱を打ちたて、健全な関心と判断能力の涵養

●適切かつ迅速な紛争解決を目指し、事件を分野横断的に捉えることができる法律家の養成
北陸地方に限らず、わが国の地方都市では、法律事務所の多くは個人または数人の小規模な共同経営によって運営されています。ところが、持ち込まれる事件の種類や内容は多種多様です。弁護士は、これらの事件を一人で解決しなければなりません。そこで必要とされるのは、ある特定の狭い先端的分野だけの専門家ではなく、日常的に生じるあらゆる法的問題を、一定水準に保ちつつバランス良く包括的に解決できる能力を備えた法律家です。

本学法科大学院では、さまざまな法的紛争を適切かつ迅速に解決すべく、事件を分野横断的に捉えることができる法律家を養成することを第一の目的としています。この目的達成のため、法律基本科目のバランスの取れた習熟、紛争解決に関する手続・実務への精通、紛争類型に則した分野横断的な洞察力の養成を教育目標として設定しています。

●紛争予防のための調整能力を備え、社会貢献をなす法律家の養成

21世紀の社会を担う法曹は、単に法的紛争の解決にとどまらず、紛争予防のためのシステムを構築することに対しても、重要な役割を演じなければなりません。特に、地方分権がますます進む今日、地方自治体の各種審議会等において、あるいは自治体内弁護士として、既存の法制度や組織の整合性に配慮しながら将来起こりうる問題解決・紛争予防のための枠組みづくりや政策立案に指導的役割を期待されることが多くなります。また、私人間に生じる法的問題—契約書や遺言書の作成等—の調整的役割も、とりわけ法的サービスが十分でない地方都市では、法曹の重要な役割になってきます。

本学法科大学院では、《公・私》いずれの場合においても、紛争予防のための調整能力を備え、社会貢献できる法律家の養成を第二の目的としています。このため、社会状況を的確に把握する能力、それに基づく制度設計能力の育成、私的紛争を予測・回避する能力の養成を具体的な教育目標として設定しています。

カリキュラム

理論と実務の架橋を意識した段階的教育

●法律基本科目群

1年次では、各法分野の概要や基礎的な概念等、理論中心の学修を行います。2年次の各演習では、紛争事例を用いて、法の規定や理論を適用するトレーニングを行います。3年次の各総合演習では、複数の法分野が交錯する事例を用いて、紛争全体を解決する総合的な能力を養成します。2年



法学研究科 法務専攻

●募集人員

標準コース 6名(予定)
(社会人特別選抜 3名を含む)
短縮コース 9名(予定)
(金沢大学法学類法曹養成プログラム
修了予定者対象特別選抜 4名を含む)

●修業年限

標準コース(標準修業年限3年)
短縮コース(標準修業年限2年)

●教員数

専任教員(研究者) 9名
専任教員(実務家) 4名
非常勤教員(研究者) 18名
非常勤教員(実務家) 29名

次・3年次の演習では、1クラス10人前後という少人数の利点を活かし、個々の学生の理解度を把握しながら、教員と学生、学生同士の徹底した質疑応答や討論による授業を行います。

●実務基礎科目群

法曹としての使命感・責任感・倫理観を養うため、「法曹倫理」を学びます(実務家教員による共同担当)。これは、北陸3県の弁護士会からの協力を得て実務の現場を体験する「エクスターンシップ」や「クリニック」と一体となって、より深い理解を得ることができます。また、「模擬裁判」は実際にあった民事・刑事の事件をモデルとしたケースを教材に行います。「民事訴訟実務の基礎」「刑事訴訟実務の基礎」では、要件事実・事実認定の基礎や法文書作成の基礎といった実務能力を身につけます。

●基礎法学・隣接科目及び展開・先端科目群

多様な選択科目を開講し、学生の問題関心や将来の希望に応じた科目選択を可能にします。同時に、地方においては多様な法的紛争を一人の法曹がすべて対処しなければならないため、幅広い法分野に関する学識を身につけることを可能にします。



入試概要

●標準コース入学試験

小論文試験、面接試験、自己評価書により総合的に判定します。

*評価の割合

小論文試験(100点)、ほか自己評価書につき、20点を上限として点数を加算します。

○社会人特別選抜(標準コース)

事前提出課題、口述試験、自己評価書により総合的に判定します。

*評価の割合

事前提出課題(100点)、ほか自己評価書につき、20点を上限として点数を加算します。

●短縮コース入学試験

法律専門科目試験(憲法、民法、刑法、商法)、面接試験、自己評価書、特筆すべき資格等により総合的に判定します。

*評価の割合

法律専門科目試験(憲法25、民法25、刑法25、商法25)

ほか、自己評価書、特筆すべき資格等につき、各20点を上限として点数を加算します。

*標準コースと短縮コースの併願は可能です。

カリキュラム構成

区分	配当学年	1年次	2年次以降
法律基本科目 (必修66単位)		憲法(4) 民法I(4)、民法II(4) 民法III(4) 商法(6) 刑法I(4)、刑法II(4) 基礎演習I(1)* 基礎演習II(1)*	憲法演習(2)、行政法演習(2) 行政法(4) 公法総合演習(2) 民法演習I(2)、民法演習II(2)、 商法演習(2) 民事訴訟法(4)、民事訴訟法演習(2) 民事法総合演習I(2)、 民事法総合演習II(2) 刑法演習(2)、刑事訴訟法(4) 刑事訴訟法演習(2)、刑事法総合演習(2)
実務基礎科目 (必修6単位)			法曹倫理(2) 民事訴訟実務の基礎(2) 刑事訴訟実務の基礎(2)
(4単位以上選択必修)			クリニック(1)、エクスターンシップ(2) 模擬裁判(刑事)(1)、模擬裁判(民事)(1)
基礎法学・隣接科目 (4単位以上選択必修)		法理学(2)、日本法制史(2)、東洋法制史(2) 英米法(2)、刑事政策(2)、政治学(2)、 政策法務(1)、選挙管理法制(1)、危機管理・復興法制(2)	
展開・先端科目 (12単位以上選択必修) (司法試験選択科目 ★から4単位以上を含む)			★国際法(2)、知的財産法(2)、★経済法(2)、 ★国際私法(2)、★国際取引法(2)、 ★租税法(2) ★労働法I(2)、★労働法II(2)、社会保障法(2)、 民事保全・執行法(2)、★倒産法I(2)、★倒産法II(2)、消費者法(2)、 紛争とその法的解決I(2)、紛争とその法的解決II(2)、 医事法(2)、法医学(2)、現代法の諸問題(1) インターンシップ(1)、法教育実習(1) 交渉学(2)、ビジネス法務(2)、法律外国語研修(2)

*基礎演習I、IIは選択科目です。
*科目名、単位数は変更になる可能性があります。

出願期間

A日程:2024年7月25日(木)~7月31日(水)
B日程:2024年9月19日(木)~9月25日(水)
C日程:2024年11月7日(木)~11月13日(水)

試験日程・会場

※標準コースと短縮コースの併願可

A日程:金沢・東京・大阪
2024年8月24日(土)

B日程:金沢・東京・名古屋
2024年10月19日(土)

C日程:金沢・東京・大阪
2024年11月30日(土)

試験科目

標準コース:小論文、面接

短縮コース:憲法、民法、刑法、商法、面接

合格発表

A日程:2024年9月19日(木)

B日程:2024年11月7日(木)

C日程:2024年12月23日(月)

奨学金

入学金・授業料については、半額又は全額免除の制度があります。

また、金沢大学独自の支援として、入試成績の優秀者に年額60万円(×標準修業年限)を給付する制度(予定)、模擬試験の受験料を助成する制度があります。

そのほか、「NPO法人ロースクールちゅうぶ」の給付奨学金制度があります。これは、中部地方の法科大学院への入学者の中から、毎年4名程度に、入学金と正規在学期間中の授業料・施設費の全額が給付される制度です。

●問い合わせ先

〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学人間社会系事務部学生課
(入試・学生募集担当)
TEL 076-264-5600
e-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp
https://knzwns.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/

◆アクセス

(北陸鉄道バス利用の場合)
角間キャンパス バス停:金沢大学まで
金沢駅兼六園口(東口)8番乗り場発 93-94-97
金沢大学行き(兼六園下経由) 片道380円

